

## ◆教科書対応表ご利用に当たって

※無断編集・転用禁止

- ・ このファイルは啓林館様刊行の「高等学校物理基礎（物基／705）」「高等学校化学基礎（化基／706）」「高等学校生物基礎（生基／705）」と「すらら」の対応表です。
- ・ シートは左から順に「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」の内容との対応表になっています。（今後のリリース範囲はグレーになっています）
- ・ 「すらら」は、それぞれがどのようにつながっているかを理解できるように、各項目を配列しております。そのため、各単元内での配列において、教科書の配列と順番が前後している箇所がございます。断片的な知識習得ではなく、それぞれの有機的つながりを意識した理解を促進するために、レクチャー内容にも一連のストーリーを持たせておりますので、各単元内の学習順は「すらら」の配列順にて進めていただくことをお勧めいたします。

※無断編集・転用禁止

★物理基礎						
ページ		教科書タイトル	すらすら			
From	To		Stage	Lesson	Unit	タイトル
第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動 第1節 速度						
14	15	A 速さ	1	1	1	速さ
16	17	B 変位と速度	1	1	2	変位と速度
18	20	C 等速直線運動	1	1	3	等速直線運動
21	21	D 速度の合成	1	1	4	速度の合成
24	25	E 相対速度	1	1	5	相対速度
第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動 第2節 加速度						
28	31	A 加速度	1	2	1	加速度
32	37	B 等加速度直線運動	1	2	2	等加速度直線運動
			1	2	3	等加速度直線運動（加速度が負のとき）
第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動 第3節 落体の運動						
38	38	A 落下運動	1	2	4	自由落下
38	40	B 自由落下				
41	44	C 鉛直投射	1	2	5	鉛直投げおろし・投げ上げ
45	45	D 放物運動	1	2	6	放物運動
第1部 物体の運動とエネルギー 第2章 力と運動 第1節 力						
50	50	A 力の表し方	2	1	1	力の表し方
51	53	B いろいろな力	2	1	2	いろいろな力
54	55	C 力の合成と分解	2	1	3	力の合成と分解
56	57	D 力のつり合い	2	1	4	力のつり合い
58	60	E 作用と反作用	2	1	5	作用・反作用の法則
第1部 物体の運動とエネルギー 第2章 力と運動 第2節 運動の法則						
62	62	A 慣性の法則	2	2	1	慣性の法則
63	69	B 運動の法則	2	2	2	運動の法則
69	69	C 運動の三法則	2	2	3	運動の三法則
71	71	D 重さと質量	2	2	4	重さと質量
72	72	E 単位と次元	2	2	5	単位と次元
第1部 物体の運動とエネルギー 第2章 力と運動 第3節 様々な力と運動						
73	76	A いろいろな運動と運動方程式	2	3	1	さまざまな運動と運動方程式
77	81	B 摩擦力がはたらく場合	2	3	2	静止摩擦力がはたらく場合の力と運動
			2	3	3	動摩擦力がはたらく場合の力と運動
82	82	C 空気抵抗がはたらく運動	2	3	4	空気抵抗がはたらく場合の力と運動

※無断編集・転用禁止

★物理基礎						
ページ		教科書タイトル	すらすら			
From	To		Stage	Lesson	Unit	タイトル
83	86	D 圧力と浮力	2	3	5	圧力と水圧・浮力
第1部 物体の運動とエネルギー 第3章 仕事とエネルギー 第1節 仕事						
88	88	A 仕事	3	1	1	仕事とは
89	89	B 力の向きと変位の向きとが異なる場合の仕事	3	1	2	力の向き・変位の向きが異なる場合の仕事
90	91	C 仕事の符号	3	1	3	負の仕事
92	93	D 仕事の原理	3	1	4	仕事の原理
94	95	E 仕事率	3	1	5	仕事率
第1部 物体の運動とエネルギー 第3章 仕事とエネルギー 第2節 運動エネルギー						
96	96	A エネルギー	3	2	1	運動エネルギー
96	97	B 運動エネルギー				
98	98	C 運動エネルギーの変化と仕事	3	2	2	運動エネルギーの変化と仕事
第1部 物体の運動とエネルギー 第3章 仕事とエネルギー 第3節 位置エネルギー						
100	101	A 重力による位置エネルギー	3	2	3	重力による位置エネルギー
102	103	B 弾性力による位置エネルギー	3	2	4	弾性力による位置エネルギー
第1部 物体の運動とエネルギー 第3章 仕事とエネルギー 第4節 力学的エネルギーの保存						
104	104	A 力学的エネルギー	3	2	5	力学的エネルギーの保存
104	109	B 力学的エネルギーの保存				
110	110	C 保存力と力学的エネルギーの保存				
111	113	D 保存力以外の力が仕事をする場合	3	2	6	保存力以外の力が仕事をするとき
第2部 熱 第1章 熱とエネルギー 第1節 熱と温度						
118	119	A 温度	4	1	1	熱と温度
120	120	B 物質の三態と分子の熱運動	4	1	2	物質の三態と分子の熱運動
121	121	C 内部エネルギー	4	1	3	内部エネルギー
121	123	D 熱膨張	4	1	4	熱膨張
第2部 熱 第1章 熱とエネルギー 第2節 熱量						
124	125	A 熱量と温度変化	4	2	1	熱量
126	127	B 潜熱	4	2	2	潜熱
128	130	C 熱の移動と熱平衡	4	2	3	熱量の保存
第2部 熱 第1章 熱とエネルギー 第3節 熱と仕事の変換						
132	135	A 仕事と熱運動のエネルギー	4	3	1	熱の利用
138	138	B 熱機関	4	3	2	熱機関と熱効率

※無断編集・転用禁止

★物理基礎						
ページ		教科書タイトル	すらすら			
From	To		Stage	Lesson	Unit	タイトル
139	140	C エネルギーの変換と保存	4	3	3	エネルギーの変換と保存
141	141	D 不可逆変化	4	3	4	不可逆変化
第3部 波 第1章 波の性質 第1節 波の伝わり方						
144	144	A 波とは	7	1	1	波とは
145	145	B 波形の移動と媒質の移動				
146	148	C 周期的な波				
148	149	D 波の位相				
150	152	E 横波と縦波	7	1	5	横波と縦波
152	153	F 波が運ぶエネルギー・波が伝える情報				
第3部 波 第1章 波の性質 第2節 波の性質						
154	155	A 波の独立性と重ね合わせの原理	7	2	1	波の独立性と重ね合わせの原理
156	157	B 波の反射	7	2	3	波の反射
158	160	C 定在波	7	2	2	定常波
第3部 波 第2章 音 第1節 音波の性質						
168	169	A 音波	8	1	1	音波の性質
169	170	B 音の速さ				
170	171	C 音の三要素	8	1	2	音の三要素
171	171	D 可聴音と超音波	8	1	3	可聴音と超音波
172	173	E うなり	8	1	4	うなり
第3部 波 第2章 音 第2節 音源の振動						
174	174	A 共振・共鳴	8	2	1	共振・共鳴
175	177	B 弦の固有振動	8	2	2	弦の固有振動
178	182	C 気柱の固有振動	8	2	3	気柱の固有振動
第4部 電気と磁気 第1章 静電気と電流 第1節 静電気						
186	187	A 静電気	5	1	1	静電気
188	188	B 電荷と電気量	5	1	2	帯電のしくみ
188	188	C 電子				
189	189	D 導体・不導体・半導体				
第4部 電気と磁気 第1章 静電気と電流 第2節 電流						
190	191	A 電流と電圧	5	2	1	電流と電圧

※無断編集・転用禁止

★物理基礎						
ページ		教科書タイトル	すらすら			
From	To		Stage	Lesson	Unit	タイトル
192	196	B 電気抵抗	5	2	2	電気抵抗
197	198	C 抵抗の接続	5	2	3	抵抗の接続
199	200	D 電力と電流の熱作用	5	2	4	電力と電流の熱作用
第4部 電気と磁気 第2章 交流と電磁波 第1節 電磁誘導と発電機						
202	203	A 磁界	6	1	1	磁界
204	204	B 電流が磁界から受ける力	6	1	2	電流が磁界から受ける力
205	206	C 電磁誘導	6	1	3	電磁誘導と発電
第4部 電気と磁気 第2章 交流と電磁波 第2節 交流と電磁波						
207	209	A 交流	6	2	1	交流の性質
210	211	B 電気エネルギーの利用	6	2	2	電気エネルギーの利用
212	212	C 電磁波の発見	6	2	3	電磁波の性質と種類
213	214	D 電磁波の種類とその利用				
第5部 物理と私たちの生活 第1章 エネルギーとその利用 第1節 様々なエネルギーとその利用						
218	218	A エネルギーの変換と保存	4	3	3	エネルギーの変換と保存
218	219	B 利用するエネルギーの移り変わり	9	1	1	エネルギー資源と発電①
220	221	C 太陽光の利用				
221	221	D 化石燃料の利用				
222	225	E 放射線	9	1	2	放射線
226	228	F 原子力の利用	9	1	3	エネルギー資源と発電②
第5部 物理と私たちの生活 第2章 物理学が拓く世界						
230	231	医療：見えないものを見る	-	-	-	
232	233	工学：組み合わせられる技術	-	-	-	
234	235	力学：巨大な橋を支える物理学	-	-	-	
236	237	防災：地震から建造物を守る技術	-	-	-	

(C)SuRaLa Net Co.Ltd.

※無断編集・転用禁止

★化学基礎						
ページ		教科書タイトル	すらすら			
From	To		Stage	Lesson	Unit	タイトル
第1部 物質の構成 第1章 物質の構成 第1節 純物質と混合物						
12	13	A 純物質と混合物	1	1	1	純物質と混合物
14	19	B 物質の分離・精製法	1	1	2	混合物の分離
第1部 物質の構成 第1章 物質の構成 第2節 物質とその成分						
20	22	A 元素と化合物・単体	1	2	1	元素
23	27	B 成分元素の検出	1	2	2	成分元素の検出
第1部 物質の構成 第1章 物質の構成 第3節 粒子の熱運動と物質の三態						
28	29	A 粒子の熱運動	1	3	1	物質の状態と粒子の熱運動
29	31	B 物質の状態変化と三態				
第1部 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第1節 原子の構造と電子配置						
35	39	A 原子の構造	2	1	1	原子
			2	1	2	
40	41	B 電子配置	2	1	3	原子の電子配置
第1部 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第2節 イオン						
43	45	A イオンとイオンの生成	2	2	1	イオンの生成
45	45	B イオン生成のエネルギー	2	2	2	イオン化エネルギーと電子親和力
46	46	C 原子とイオンの大きさ	2	2	3	原子とイオンの大きさ
第1部 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3節 元素の周期表						
47	47	A 周期律と周期表	2	3	1	元素の周期表
48	48	B 周期表と元素の分類				
50	52	C 同族元素				
第1部 物質の構成 第3章 化学結合 第1節 イオン結合						
56	57	A イオン結合とイオンからなる物質	3	1	1	イオン結合とイオン結晶
58	63	B イオン結晶				
第1部 物質の構成 第3章 化学結合 第2節 共有結合						
64	73	A 共有結合と分子	3	2	1	共有結合と分子の形成
			3	2	2	配位結合
74	75	B 電気陰性度と分子の極性	3	2	4	電気陰性度と分子の極性
76	76	C 分子からなる物質の性質	3	2	3	高分子化合物
77	79	D (発展) 分子間力	3	2	5	分子間力と分子結晶
80	83	E 分子からなる物質の例	3	2	3	高分子化合物
84	85	F 共有結合結晶	3	2	6	共有結合の結晶

※無断編集・転用禁止

★化学基礎						
ページ		教科書タイトル	すらすら			
From	To		Stage	Lesson	Unit	タイトル
第1部 物質の構成 第3章 化学結合 第3節 金属結合						
86	87	A 金属の結合	3	3	1	金属結合
88	89	B 代表的な金属と合金				
90	90	C (発展) 金属結晶の構造				
第1部 物質の構成 第3章 化学結合 第4節 物質の分類と融点						
92	92	物質の分類と融点				
第2部 物質の変化 第1章 物質質量と化学反応式 第1節 原子量・分子量・式量						
98	100	A 原子量	4	1	1	原子の相対質量
			4	1	2	原子量
100	101	B 分子量・式量	4	1	3	分子量と式量
第2部 物質の変化 第1章 物質質量と化学反応式 第2節 物質質量 (mol)						
102	103	A アボガドロ定数と物質質量	4	2	1	アボガドロ定数と物質質量
103	104	B 物質質量と質量	4	2	2	物質質量と質量
105	107	C 物質質量と気体の体積	4	2	3	物質質量と気体の体積
110	113	D 溶液の濃度	4	3	1	溶液の濃度
			4	3	2	溶解度
第2部 物質の変化 第1章 物質質量と化学反応式 第3節 化学反応式と化学変化の量的関係						
114	116	A 化学反応式	4	4	1	化学反応式
117	125	B 化学変化の量的関係	4	4	2	化学反応式の表す量的関係
第2部 物質の変化 第2章 酸と塩基 第1節 酸と塩基						
132	133	A 酸と塩基の性質と定義	5	1	1	酸と塩基の性質
134	135	B 広い意味での酸・塩基の定義	5	1	2	酸と塩基の定義
135	135	C 酸・塩基の価数	5	1	3	酸と塩基の価数
136	137	D 酸・塩基の強さ	5	1	4	酸と塩基の強弱
第2部 物質の変化 第2章 酸と塩基 第2節 水の電離とpH						
138	138	A 水の電離	5	2	1	水素イオン濃度
138	139	B 水溶液の酸性・塩基性				
141	141	C 指示薬とpH測定	5	2	2	pH指示薬とpHの測定
第2部 物質の変化 第2章 酸と塩基 第3節 酸・塩基の中和と塩						
142	142	A 中和と塩	5	3	1	酸・塩基の中和と塩
143	149	B 中和滴定	5	4	2	中和滴定
150	151	C 滴定曲線	5	4	3	滴定曲線

※無断編集・転用禁止

★化学基礎						
ページ		教科書タイトル	すらすら			
From	To		Stage	Lesson	Unit	タイトル
152	153	D 塩の分類と水溶液の性質	5	3	2	塩の水溶液の性質
155	155	E 塩の反応	5	3	3	塩と酸・塩基の反応
第2部 物質の変化 第3章 酸化還元反応 第1節 酸化と還元						
160	162	A 酸化・還元の定義	6	1	1	酸化と還元
163	164	B 酸化数	6	1	2	酸化数
第2部 物質の変化 第3章 酸化還元反応 第2節 酸化剤と還元剤						
165	167	A 酸化剤と還元剤	6	2	1	酸化剤と還元剤
168	169	B 酸化還元反応の反応式の作り方	6	2	2	酸化還元反応式の作り方
170	171	C 酸化剤と還元剤の強さ	6	2	1	酸化剤と還元剤
173	174	D 酸化剤と還元剤の量的関係	6	2	3	酸化還元滴定
第2部 物質の変化 第3章 酸化還元反応 第3節 金属の酸化還元反応						
176	177	A 金属のイオン化傾向	6	3	1	金属のイオン化傾向
178	179	B 金属の反応	6	3	2	金属の反応性
第2部 物質の変化 第3章 酸化還元反応 第4節 酸化還元反応の利用						
180	185	A 電池	6	4	2	酸化還元反応と電池
			6	4	3	一次電池と二次電池
187	187	B 金属の製錬	6	4	1	身近な酸化還元反応
188	195	C (発展) 電気分解	6	5	1	電気分解のしくみ
			6	5	2	電気分解の量的関係

(C)SuRaLa Net Co.Ltd.



※無断編集・転用禁止

★生物基礎			すらすら			
ページ		教科書タイトル	Stage	Lesson	Unit	タイトル
From	To					
第1部 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性と多様性						
24	29	A 生物がもつ特徴	1	1	1	生物の多様性と共通性
30	33	B 細胞と生物	1	3	1	生物の体の成り立ち
34	42	C 細胞の構造	1	2	1	真核細胞
			1	2	2	原核細胞
第1部 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2節 生物とエネルギー						
45	47	A 代謝とエネルギー	2	1	1	代謝とエネルギー
48	50	B 代謝と酵素	2	1	2	代謝と酵素
52	53	C 光合成と呼吸	2	2	1	光合成
			2	2	2	呼吸
			2	2	3	葉緑体とミトコンドリアの起源
第2部 遺伝子とそのはたらき 第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA						
62	65	A DNAの構造	4	1	1	遺伝情報とDNA
			4	1	2	DNAの構造
69	70	B DNAの複製	4	2	1	DNAの複製
72	76	C 遺伝情報の分配	4	2	2	細胞周期
第2部 遺伝子とそのはたらき 第1章 遺伝情報とDNA 第2節 遺伝情報とタンパク質の合成						
78	79	A 遺伝子発現とタンパク質	4	3	1	生体内でのタンパク質のはたらき
			4	3	2	RNAとそのはたらき
81	85	B タンパク質の合成	4	3	3	遺伝子の発現：転写と翻訳
90	92	C 遺伝情報と遺伝子発現	4	1	3	遺伝情報とゲノム
			4	2	3	細胞の分化
第3部 ヒトの体の調節 第3章 神経系と内分泌系による調節 第1節 情報の伝達						
104	111	A 体液と恒常性	3	1	1	体内環境と恒常性
			3	1	2	体液とその循環
			3	1	3	血液の凝固と線溶
112	116	B 自律神経系と恒常性	3	3	1	自律神経系
118	121	C 内分泌系	3	3	2	内分泌系
122	123	D ホルモン分泌の調節	3	3	3	ホルモン分泌の調節

※無断編集・転用禁止

★生物基礎						
ページ		教科書タイトル	すらすら			
From	To		Stage	Lesson	Unit	タイトル
第3部 ヒトの体の調節 第3章 神経系と内分泌系による調節						
第2節 体内環境の維持のしくみ						
124	129	A 血糖濃度の調節	3	3	4	血糖濃度の調節
130	131	B ヒトの体温調節	3	2	2	肝臓のつくりとはたらき
			3	3	6	ヒトの体温調節
132	135	C 水分量の調節	3	2	1	腎臓のつくりとはたらき
			3	3	5	水分量の調節
第3部 ヒトの体の調節 第4章 免疫 第1節 免疫の働き						
136	139	A 生体防御	3	4	1	免疫のはたらき
			3	4	2	自然免疫① 物理的・科学的防御
140	141	B 自然免疫	3	4	3	自然免疫② 食作用と炎症
142	146	C 獲得免疫	3	4	4	適応免疫① 免疫寛容と抗原提示
			3	4	5	適応免疫② 適応免疫のはたらきと免疫記憶
149	155	D 免疫と病気	3	4	6	免疫と病気
第4部 生物の多様性と生態系 第5章 植生と遷移 第1節 植生と遷移						
166	170	A 環境	6	1	1	生態系における生物の役割
			5	1	1	植生とその成り立ち
			5	1	2	森林の階層構造
			5	1	3	光の強さとその影響
171	176	B 植生の遷移	5	1	4	植生の遷移
177	179	C 遷移とバイオーム	5	2	1	世界のバイオーム
188	191	D 世界のバイオーム				
190	193	E 日本のバイオーム				
第4部 生物の多様性と生態系 第6章 生態系とその保全						
第1節 生態系と生物の多様性						
192	199	A 生態系における生物どうしのつながり	6	1	1	生態系における生物の役割
			6	1	2	生態ピラミッド
201	203	B 種多様性と生物間の関係	6	1	3	生物の多様性の維持
第4部 生物の多様性と生態系 第6章 生態系とその保全						
第2節 生態系のバランスと保全						
204	211	A 生態系のバランスと変動	6	2	1	生態系のバランスと変動
212	217	B 生態系の保全	6	2	2	人間活動と生態系の保全
			6	2	3	生物の多様性と生態系の保全

(C)SuRaLa Net Co.Ltd.